

きらっと光る 通信



令和7年3月17日発行

地域生活援助センター「ポレポレ」

県南生活サポートセンター「アサンテ」

ホームヘルプステーション「ほかほか」

県南障害者就業・生活支援センター「コ/コ/」

放課後等デイサービス「ガンバ

放課後等デイサービス「ガンバプラス」

第322号

『軌跡』

所長 八島 哲

「この季節がやって来ました。」この言葉を聞いて皆さんは真っ先に何を思い浮かべましたか？この短い言葉から今の自分にピッタリと当てはまる自己解釈を一瞬で思い浮かべる能力があるのが‘人間’!! 例えば、「この季節」と花粉症の方に聞けば“花粉症”と思い浮かべ、確定申告などで苦慮されている方は“確定申告”と連想するのもかもしれない。とりわけ社会人となり事業年度を一つの区切りとして働く我々労働者にとっては、3月は年度末で一年間の締めくくりという、新年度に向け気持ちが引き締まる時期でもあるが、もっともっと大きな長期的な区切りを‘退職’という形でお迎えになる方々にとっての「この季節」はとても感慨深い特別な春なのではないだろうか？

障がい福祉事業の展開をしていく上では、いうまでもなく 主役は障がいを有するご本人!!しかし、主役を支える様々なスタッフがいないければ、障がいを有する彼ら彼女らはなかなか地域に溶け込み、個性を最大限に生かした生き方を周囲に理解して頂くのが困難なのかもしれない、ややもすれば主役の人生そのものが成り立たないといっても過言ではないのかもしれない。

「私も、この歳まで働けて本当に幸せでした。」平成14年4月。数年前からグループホームで世話人として働いているというママ友から誘われ、二人の我が子手が掛からなくなったタイミングだったこともあり障がい福祉のことなど右も左もいや、上も下もわからずただただ軽い気持ちで「やってみようかなあ〜」と世話人業務を引き受けた……。いろいろなことが有りすぎて……。今は、利用者さんも保護者さんも高齢になってしまって、お盆もお正月も生まれ育った家に帰れない利用者さんがいっぱいいるよねえ〜当時はさあ ほとんどの利用者さんが長期の休みには家に帰ってたから帰るのが当たり前だった時に、ある利用者さんは、家庭の都合で家には帰れないからってお母さんがグループホームに鍋、釜、食料品を持ち込んで泊まりながら休み期間と一緒に過ごしていて、たまたまその年はお母さんが入院してホームに来れない時があつてさあ……。 休み明けに同じホームの利用者さんがホームに戻ってきた時に自分だけ帰れない、親に会えないという不満で もの凄い八つ当たりで意地悪をして……。あまりにも酷くて……。お母さんが体調悪くて来られない事情も分かってほしいという一心で厳しく注意したことが有ったんです。そしたら、いつもは、少し注意しただけで感情をあらわに興奮し大声を張り上げる利用者さんだったんだけど、その時ばかりは「俺も寂しいんだあ〜 俺も家さ帰りてべえ〜 俺も母ちゃんさ会いでべえ〜 なんて俺だけいつも帰らんねのやあ〜 母ちゃん泊りさもこねべえ〜 母ちゃんさ会いでがつたあ〜」と40歳も過ぎた大の大人が……。幼い子供のように泣き喚く姿を見た時に、障がい者の方がご家族にいらっしゃるご家庭の事情や、何歳になっても障がいを有する我が子を案ずる親の慈愛、そして、‘母ちゃんに会いたい’と親を思慕する息子の恩愛に、私も涙がポロポロポロポロと零れてきて一緒に大泣きしたんです。なんかそれからが、この仕事の奥深さがほんの少しだけわかってきたような気がしたなあ〜。でもさあもうこの仕事を辞めようかなあと思った時も正直何度もありましたよお……。 あるホームでは、入居している方の能力に大差があって、一人の方が日常生活の殆どにお手伝いが必要で、どうしてもその方に対する声掛けとかできない所を手伝わなくちゃいけないからさあ、そうすると何でも自分で出来る方から「なんで、〇〇にばかり優しくしてんの？もっと厳しくしないとだめでしょ!!」なんて言われたりしてさあ、皆に平等に接していれば〇〇さんはもっと自分の方を向いてほしいもんだからやきもちをやって怒ってしまって 台所の椅子を振り上げられてしまって……。正直怖くなってしまった時もありましたよお〜 でもさ、みんな私を待ってってくれるんだよねえ〜 明日休み？次いつ来るの？気を付けて帰ってね？風邪ひかないでね？ そして極めつけは、私をすごく受け入れてくれて『おねえさまあ〜』決して言わせてるわけじゃないですよお〜 (笑)。凄く素直で、ただただ単純に分かりやすく感情表現してくれて嬉しかったなあ、言い方はおかしいけど可愛かったねえ。 [次のページへ→](#)

筋ジストロフィーの方がいるグループホームを担当した時も忘れられないなあ～。日中活動先からホームに帰ってくる時間には送迎バスを降りてからホームまでは結構距離もあったんで転んだら大変 と、毎日、徒歩で迎えに行って一緒に手を繋いで歩いて帰って来てましたよお仕事だからとかじゃなくて、心配だったからただそれだけ!!そんなの当たり前で、全く苦でもなかったですし良い思い出ですよ。私たちが生活の一部を世話人という立場で応援させてもらえることで障がいのある人たちがこうして少しでも楽しいと思ってもらえる時間があって、家族も安心して預けられる場所があって、そして私達も生活の中で仕事という張り合いがあって、それがいつの間にかやりがいになって……。働いている時は無我夢中だったけど、今ようやく振り替えられるようになってみると、最高の時間で最高の人生をグループホームの皆さんに頂いていたんだなあ～って思えますよ。この仕事をする前は、“障がい者”は可哀そうな人と どこかで思っていたけど今では、全然そうは思わなくなりました!!私達と同じでみんなそれぞれ個性があってみんなそれぞれ一生懸命生きている。 私たちがちょっとだけお手伝いすれば普通に生活できる人達なんだなあ～って……。」障がい福祉の現場で“グループホーム利用者”を主役として陰ながら支えてきて下さった世話人さん。グループホーム利用者さんと共に歩み続けて頂いた23年の軌跡にグループホーム利用者さん、そしてポレポレ職員一同 心より『感謝』申し上げます。本当にお疲れさまでした。

今年度3月末日をもちまして、その他2名の世話人さんが業務委託契約満了をお迎えになられます。数えきれないほど多くの利用者さんとの思い出、そしてグループホーム世話人としてご尽力頂きましたこと、グループホーム利用者さん、そしてポレポレ職員一同 心より『感謝』申し上げます。本当にお疲れさまでした。

3月 グループホームだよ!

3月に入り、寒さもだんだんと春に向けて勢いを緩めてきてくれたかなと感じることも多くなりました。利用者さんも職員も身体が資本。体調に気を付けながら過ごしています!

さて、今年もせんだいメディアテークにて1月31日から2月5日まで、知的障がい者の方々による芸術祭、「第28回ピュア・ハーツ アート展」が開催されました。絵画や工芸品、工作や短歌など、製作者の方々のセンスが光る作品がたくさん展示され、とても見ごたえのある素晴らしい芸術祭となりました。

ポレポレのグループホーム利用者さんからも作品を出展しています。絵画、手芸、工作など、利用者さんがそれぞれ得意な分野での才能を遺憾なく発揮し、一つの作品を共同製作で仕上げています。元となる絵を描いた後、その上から一つ一つ手作した色とりどりの小さな穂をいくつも並べ、とても鮮やかな紫陽花のモザイクアートが完成しました。職員が自作した顔縁も注目ポイントです! こうして皆で力を合わせて作った作品は、会場に訪れたたくさんの方々の目を楽しませていました。



↑「私たちが作りました!」制作者の方々。展示された作品を前に胸を張って一枚。

(ポレポレ 苦情件数 0件)

ぽかぽか だよ

3月に入りだいぶ暖かい日が多くなりましたが、急に寒くなり雪が降ると気温差の大きな日が続いています。みなさんいかがお過ごしでしょうか？年度末ということで、目まぐるしく過ごされている方も多いかと思います。体調を崩しやすい時期でもあり、また感染症も流行していますので、体調管理をしっかりと行い乗り切っていきましょう。



3/8(土)、ぽかぽかでは研修会・反省会を行いました。研修では、八島所長より虐待についてのお話しをしていただきました。30分という短い間でしたが、大変内容が濃く、わかりやすい説明で、虐待についての知識や意識をヘルパー全員が高めることが出来たと思います。



反省会では今年度を振り返り、反省を踏まえて次年度へ向けての個人の目標等を一人一人話しました。各自しっかりとした目標を持って次年度の支援へと繋げていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



(今月の苦情件数0件)

* も く じ *

- ☆ 「軌跡」・グループホームだよりの・・・1・2ページ
- ☆ ぽかぽかだよりのもくじ・・・3ページ
- ☆ コノコノかわらばん・・・4ページ
- ☆ 仙南地域障がい者基幹相談支援センターよりの・・・5ページ
- ☆ ガンバのお家・・・6ページ
- ☆ ガンバプラス通信・・・7ページ
- ☆ タイムケア新聞・・・8ページ
- ☆ 友の会だよりの各事業所への問い合わせ・・・9ページ
- ☆ 賛助会員募集のお知らせ・編集後記・・・10ページ

3月





コノコノかわらばん

少しずつ、暖かさを感じるようになり、春の足音が近づいてきているのを実感しますね！出会いと別れの季節の到来です。今年はどうな出会いが待っているのでしょうか？さて、今回の「コノコノかわらばん」は、コノコノに登録されている、とある方の話をしていきたいと思います。

「すみません！質問なのですが…ここは何名くらい働いていらっしゃるのでしょうか？」「平日はどのくらいのお客様が来るのでしょうか？」「どんなお客様が多いのでしょうか？」ここは、とある企業。今日は A さんと一緒に見学に来ています。A さんと初めて会った第一印象はとにかく真面目。待ち合わせ場所に着くと颯爽と車から降りてきて「今日は来ていただいて本当に有難うございます」と深々と頭を下げます。その後、一通り職場の中を見させていただき、具体的な仕事の内容についても説明してもらいます。その間も真剣な眼差しで説明を受ける A さん…その後の質疑応答の時間…待っていました！と言わんばかりに A さんが担当の方に気になったことを質問します。「…やる気満々だね」担当の方が笑顔でそう言います。「はい！もう私にはここしかないと思っています！」A さんが自分の覚悟を口にします…。担当の方がその覚悟に答えます。「じゃあさっそくですけど明後日から短い時間だけやってみる？」「はい！是非ともよろしくお願ひします！」流れるように、まずは実際にやってみる…という形で仕事をしてみることに…「ちなみに…週に何日くらいできる？」「毎日でも大丈夫です！」「毎日ちょっと…」担当の方が笑いながら答えます。A さんの背後に真っ赤な炎が燃えているように見えます。そのくらい A さんの覚悟は凄まじいもの…その姿を見て…なにがそこまで A さんを駆り立てているのか…。

「色々あって…何度も死のうとして…」「人の視線が怖くて…3年間家に引きこもっていて…」今の A さんの姿を知っている人は「誰の話だろう」…そう思う人も多いかもかもしれません…斯く言う私もこの話を聞いた時「本当に？」と疑ってしまいました。ですがこの話は紛れもなく A さんの話…A さんが自ら語った話です。そんな状況の中、何が A さんを変えたのか…何が A さんをそこまで駆り立てたのか…それはきっと「覚悟」なのではないかと思います。「そもそも働いても働かなくてもどちらでも良い…」「そろそろ年齢的にも働かなければいけないかなとなんとなく思って…」「働かないとまわりから言われるのでしかたがなく…」働く理由がある方もない方も、その理由は人それぞれ。そんな中で A さんはこう言うのです「私には…どうしても働く必要があるのです…」それはつまり働く必然性、働かなければならない理由が確固としてあるのだということ。A さんは「変わりたい」先日の見学の時に見せた A さんの覚悟…それは働かなければならないという強い意志によるもの。何としてもうまく行ってほしい…そう願ひます。

「まだ働いて二日目なのですが…もうほとんど一人でやっていますからね」笑いながら担当の方が言います。「現場からもすごく助かっているという声が…何よりやる気がすごくて…」「そうですか…本当に良かったです！有難うございます！」二日前から始まった A さんの就業生活は順調そのもの。すごく頑張ってくれていました。「すごいですね A さん！現場の方もすごく助かると喜んでいたのでよ！」「いえいえ…そんな…大変恐縮です。みんな良い人なので…ありがとうございます。これからも頑張ります！」その声は、本当に嬉しそうでこちらの方が嬉しくなります。これまで A さんは様々な困難…それこそ心が折れてしまいそうな辛い場面が沢山あったと言います…それから3年間引きこもって…。そこから今日 A さんがいるこの場所に辿り着くのは容易なことではありません。A さんはその「覚悟」を持って自分の道を切り開いたのです。コノコノでは今後も A さんの就業生活を応援していきたいと思います。〈就業支援員 阿部〉

次回の「コノコノかわらばん」もよろしくお願ひします

苦情 1件



春が
近づいて
来ますね

希望の持てる未来へ・・・ 大きな一歩を踏み出すために今出来ること

～仙南地域障がい者基幹相談支援センターより～

3月に入り、陽差しの暖かさや日の長さから、春を感じられるようになりました。みなさん、いかがお過ごしですか？この季節は慌ただしい空気感もありますが、新年度に向けて胸を弾ませる時期でもありますね。今回はみなさんより少し早めに新生活をスタートした、〇〇さんのお話しをご紹介します。

〇〇さんは、小さい頃からアサンの日中一時支援を時々利用しており、お母さんお手製のおもちゃで遊ぶのが大好きな方。頻繁にてんかん発作がありますが、生活介護と短期入所、ヘルパーさんによる入浴支援を利用しながら、自宅でご両親に温かく見守られて生活していました。ある日のモニタリングでの事。「短期入所でお世話になっているA事業所から入所に空きが出たと連絡があったの。私も年齢を重ねて、検査で引っかかったり、ずっと体調も悪くて横になって休んでいることが多いから、入所できる施設を探していたんだよね。でも、他の施設とかで入所をしたら環境が合わなくて痩せたり体調を崩してすぐに退所したって話とかも聞くでしょ。うちの子も心配なのよ。2ヵ月くらい体験入所することは出来ないのかしらね」との話がありました。宿泊を伴う福祉サービスは、よく利用契約前に数日間の体験をするのは耳にしますが、私の経験上、2ヵ月くらいの長い体験をする方はこれまでにいませんでした。今まで経験したことのない相談に頭を悩ませた私は、入所の案内をしたA事業所に体験入所を相談しますが、それは出来ないとの返答。しかし「入所してみて、どうしても合わない場合は、すぐに退所してもらって大丈夫です」との話もありました。その旨をすぐに〇〇さんのお母さんに伝えます。「そうなのね～。体験入所がないのは残念だけど、合わない時はすぐに退所出来るのね。でもそうしたら、もし入所が合わなくて自宅に戻る時、今利用しているサービスはどうなるの？自宅に戻っても、今利用しているサービスが使えなかったら大変だわ！」お母さんの不安はもちろんです。施設に入所するという事は、今利用している事業所とは契約を終了することになります。〇〇さんの利用している事業所は、どこも人気の事業所です。契約を終了してA事業所に入所したら、これまで利用していた事業所ではすぐに別の方が利用を開始して、万が一、数ヵ月後に自宅に戻ることにした時には、もう元の事業所には空きがないことが予想されました。またしても一人では解決困難な問題に直面した私は、〇〇さんに関わる事業所や福祉課、お母さんに集ってもらい、意見をもらいました。「うちは年度契約だから、もしまた利用したい時は契約さえしてくれたら大丈夫だよ」という心強い話しや、「私の所は、しばらく籍を置いたままにします。ずっと利用してくれていたからね」という優しい言葉、「もしA事業所を退所して今使っているサービスに戻る時は、お母さんには手続きをしてもらって、アサンテさんには計画を出してもらいたいです」という確な説明にお母さんは安心した様子を見せ、私もホッとしました。

〇〇さんがA事業所に入所して1ヵ月が過ぎた、立春を迎えた頃。モニタリングで〇〇さんにお会いした時には、お母さんお手製のおもちゃを手に握って、いつもと変わらない元気な姿を見ることが出来ました。お母さんから、「週1回くらい夫と面会に行っているけど、てんかん発作も落ち着いているし、体重も特に減っている様子はないわ。この生活を続けられそう！本当にありがとうね」というお話しを聞くことが出来ました。

事業所の名前である「アサンテ」は、スワヒリ語で「ありがとう・会えてよかった」を意味します。アサンテ相談員は、出会ってくださったみなさんにそう思ってもらえるよう一生懸命お手伝いさせていただいております。そしてお手伝いをさせていただいている私も「ありがとう・会えてよかった」と感じる事がたくさんあります。

アサンテはこれからも「ありがとう・会えてよかった」と思ってもらえるよう、仙南地域におりますので、ぜひみなさんの思いや声をお聞かせください。



ガンバの おうち



～放課後等デイサービスガンバから～

新年度が近づき、利用者の新たな環境にわくわくしている様子が見られ始めています。期待と同時に不安や心配も感じているようですが、そんな心に寄り添いみなさんが安心できるような支援を行っていきます。

上記の通り、期待に胸躍らせながらも不安も感じている皆さんですが日々の活動には真剣に取り組んでおり、活動の一部を考えている身として非常に嬉しく思っております。2月は「節分」や「バレンタイン」などの行事やイベントにちなんだ活動を行いました。余白を残さないように端から端まできれいに色を塗ったり「こうした方が鬼に見えるかな?」と考えたりして鬼の被り物を製作しました。また、バレンタインデーのおやつ作りでは、「なにか手伝えることある?」「これできそうだからやってみるよ」と積極的に取り組んでくれて、完成したおやつを美味しそうに食べていました。

入職してから半年未満ですが利用者の皆さんの成長を感じています。さらなる成長の一助となれるよう引き続き心に寄り添う支援を行います。



ガンバページ 絶賛稼働中!!

社会福祉法人白石陽光園のホームページ内に、ガンバのページを掲載中です。ブログで日々の活動や様々な情報をどんどん発信中!!

ガンバのページまでのアクセス方法

白石陽光園 (<http://www.shiroishiyokoan.or.jp/>) にアクセス→「地域生活援助センター」のページへ、援助センターページ下部の「放課後等デイサービスガンバ」内「放課後等デイサービスガンバサイト」をクリックしていただくとみていただくことができます。また左記のQRコードをカメラで読み取っていただくことで直接アクセスすることが出来ます。



Instagramで発信中!!

日々の活動の様子や、活動で制作した作品、支援のグッズなどをInstagramで随時発信しています。



放課後デイサービス

ガンバ 



HOUKAGO_GAMBA

Instagram URL :

https://www.instagram.com/houkago_gamba/

↑ QRコード

ガンバ先月の苦情・要望受付件数：0件

ガンバプラス 通信



3月に入っても朝夕はまだまだ冷え込みが厳しいですが、日が昇るにつれて太陽の日差しにより暖かさが増し、春の陽気を少しずつ感じられるようになってきました。そんな中、ガンバプラスでは毎日利用いただいている子どもたちの元気な声やエネルギーな姿でいっぱいです。また、ガンバプラスとしては初めての年度末を迎えます。つまり、学校などでは卒業式のシーズンです。先月号でもお話ししましたが、1名の方が小学校の卒業を迎えます。また、来月からは新年度。新たなお友達も続々と利用契約を結び始め、利用に向けて準備している状況です。この白石市で放課後等デイサービス事業所は現在当法人の事業所2か所ともう1事業所の計3か所がありますが、当法人で言えば、すでに沢山の利用希望により、飽和状態となっております。サービスとしては前記したように、新年度に入るタイミングに向けて多くの利用希望があり、そちらに向けて毎年お問い合わせや相談をいただいております。放課後等デイサービスはサービスの特性上、いわゆる学童期における支援を学校や家庭などと相まって行うこととなっており、小学校入学から高校卒業までの12年間と限られた時間の中で、子どもたちにとって大きく成長していくのと同時に、一人の人間としての基盤を構築するための重要な時期となります。そんな子どもたちにとって重要な時間の中で、この「ガンバプラス」をまた沢山の方に選んで利用していただくことは、とても光栄なことであると同時に、支援者としては大きな責任を感じざるを得ません。また、同時に、ご家族と一緒にあって、子どもさんの成長を支え、一緒に悩み、喜びを感じられることは大変うれしく思います。そして、ガンバプラスを通して、利用している子どもたちの1日1日を様々な経験や体験を通して小さいステップを踏みながら少しずつ少しずつ階段を上るように段階を踏んだ支援はとても重要です。もし階段の一步が高ければ次のステップに行く前に躓いてしまうことになってしまうため、その時の成長段階をしっかりと把握し、適切なステップ（支援）を準備することが必要です。だからこそ、ガンバプラスとしても沢山の方に選んでいただいたからこそ、一人一人の成長に合わせた支援を行えるように適切な環境を整えて、今後も利用者の皆さんに寄り添える事業所であり続けていきたいと思っております。

令和6年度は序章にすぎません。令和7年度もよろしくお祈りするとともに、4月からのガンバプラスにご期待ください。

ガンバプラスでは4月からの利用者増加により一緒に働いていただけるスタッフを大大募集しています😊

資格をお持ちの方(児童指導員及び保育士)だけでなく資格がなくても子どもたちの支援に興味関心がある方、子どもが好きな方も大歓迎です🌟

**詳しくは下記からチェック👉
(法人ホームページアドレス)**

<http://www.shiroishiyoko.or.jp/>

ガンバプラスでは法人ホームページでブログやインスタグラムで様々な情報や

活動の様子等を発信しています👉

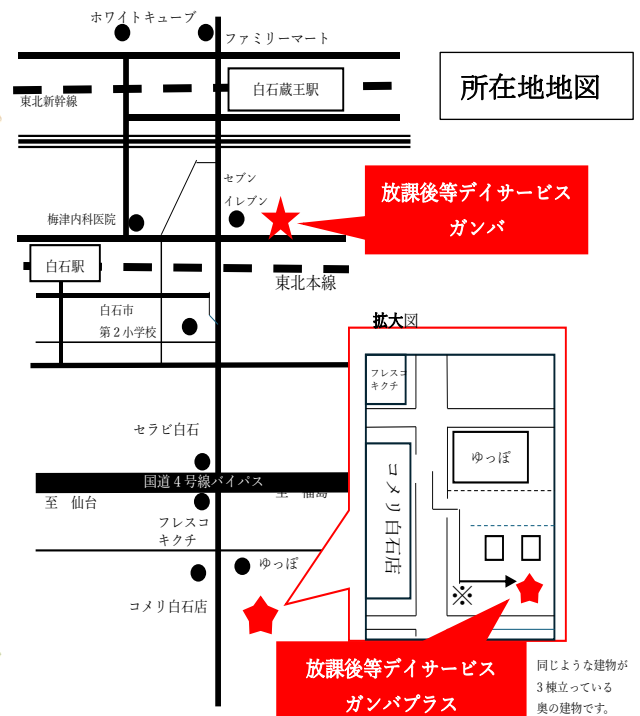
ガンバプラスインスタグラム URL

<https://www.instagram.com/gambaplus/>

gambaplus/



GAMBAPLUS



ガンバプラス先月の苦情・要望受付件数：0件

※看板は強風により撤去しました。現在再準備中です。

タイムケア新聞

3月に入り世の中では年度末ということで何かと忙しい毎日をご過ごされている方も多くいる中で、3月は別れのシーズンということもあり成人の方は職場の異動の話が話題になったり、児童の方なら卒業があったりと慣れ親しんだ場所や人から離れなくてはならない方もいるかと思えます。残り数日を大切に過ごしていただき、心残り無いよう残りの令和6年度をご過ごしていただければと思います。また異動や卒業をされる方は4月から心機一転で「新たな第一歩」と捉えていただければと思います。またインフルエンザ等もだいぶ落ち着きを見せていますが、まだまだ流行しているとのことでしたので手洗い・うがい・消毒を心意識付けてもらえればと思います。

タイムケアでは平日の午前から昼過ぎまで利用されている方がおります。その方が楽しみにされている時間！それがランチタイムです。お昼前になると市内のお惣菜店に連絡を入れお弁当を購入した後、楽しいランチタイムをご過ごされています。いつもならある程度決まったお弁当を購入するのですが、その日はいつもと違う弁当「カレードリア弁当」があり「食べてみたい」と話され購入されていました。お昼となり、食べ始めると「すごく美味しいです。あまり食べないので新鮮です」と話され食べていました。支援というのは「行動面での支援」という形もありますが、美味しい物を食べ皆さんで楽しく過ごすことも「心の支援」の形と捉え、これもひとつの支援となるのかなと思えた一日でした。



ポレポレ4月の利用についてのお知らせ

●予約多数の場合調整させて頂く日時について

4月 3日 (木) 世話人月例会のため (PM)

4月 4日 (金) ポレポレ会議のため (PM)

※その他に受け入れに関するお知らせや利用者に皆様へお知らせすることがある場合は玄関を入った下駄箱上方に「タイムケアお知らせばん」を掲示していますので、ポレポレにおいでの際は目を通して頂ければと思います。

【ポレポレ】

【アサンテ】

アサンテ4月の利用についてのお知らせ

●予約多数の場合調整させて頂く日時について

4月25日 (金) タイムケア調整のため (一日)

※一日、アサンテ会議のため (AM) 調整させていただきます。日にちは決まり次第お知らせします。

見え隠れする春の兆しに心が躍る今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、アサンテでは毎月利用者さんの協力頂きながら装飾作りを行っております。今回は絵本に登場する「はらぺこあおむし」のイラストを皆様から頂いた絵具や筆などを使い利用者さんと一緒に書いてみました!(^_^)!

他にも春に向けて折り紙で作ったチューリップや桜など、可愛く出来た皆さんのイラスト等々をアサンテ入り口、奥の壁面に飾っておりますのでご来所の際はご覧になってみてください。



友の会 だより

桃の花咲く季節となりました。皆さまいかがお過ごしですか？まだ肌寒い日が続いていますが、春の兆しに心が躍る今日この頃です。3月は卒業、卒園、転勤、異動など別れの時期でもあります。友の会の役員メンバーも2年間の任期を終え、3月で終了になりました。お疲れ様でした。会長の荒井礼子さんは、役員の仕事がとても楽しかったようで、また会長をしたいと願っていました。

2月に役員会の選挙がありました。その中で荒井さんは、庶務会計として残留になり新会長を助けてくれることが決まりました。新会長には、東町ホームから加藤久二さんが選ばれました。男性の会長は久しぶりのようです。本人自ら立候補したので、是非頑張ってもらいたいですね。そして、今回は大河原にあるホームの利用者さんの中から二名の方の立候補があり、副会長に任命されました。トミーホームの平井友子さんと高野洋子さんです。初の役員で緊張されると思いますが、皆さんで暖かく迎え入れたいと思います。副会長となったお二人は、お花や野菜の方などにとても興味を持ったようでした。最後に名誉会長の八巻正人さんに聞いた所、二つ返事で来年度の役員も引き受けてくれました。頼もしいですね。まずは、4月に行われる役員会で1年間の予定を決めたいと思います。

昨年、コロナの影響で本人部会が出来なかったので、今年度は実施出来たらと思っています。

年度末になり様々な理由で人が別れを経験します。旅立つ人、見送る人、世話人さん、職員も退職される方がおられます。長い間お世話になり、ありがとうございました。

今年度も一年、社会自立者友の会にご協力いただきありがとうございました。

事業所の問い合わせ

○地域生活援助センターポレポレ

〒989-0225 白石市東町二丁目2番地3
TEL 0224-26-1152
FAX 0224-26-1153
メール porepore@shiroishiyokoen.or.jp

○ホームヘルプステーションぽかぽか

〒989-0225 白石市東町二丁目2番地3
TEL 0224-22-2561
FAX 0224-22-2562
メール pokapoka@shiroishiyokoen.or.jp

○放課後等デイサービスガンバ

〒989-0225 白石市東町二丁目2番地3
TEL 0224-25-5301
FAX 0224-26-1153
メール gamba@shiroishiyokoen.or.jp
インスタ https://www.instagram.com/houkago_gamba/

○県南生活サポートセンターアサンテ

〒989-1201 大河原町大谷字戸ノ内前43番地5
TEL 0224-51-5361
FAX 0224-51-5362
メール asante5361@ec1.technowave.ne.jp

○県南障害者就業・生活支援センターコノコノ

〒989-0225 白石市東町二丁目2番地3
TEL 0224-25-7303
FAX 0224-26-1153
メール konokono@shiroishiyokoen.or.jp

○放課後等デイサービスガンバプラス

〒989-0217 白石市大平森合字森合沖95番地2
TEL 0224-26-6135
FAX 0224-26-6148
メール gambaplus@shiroishiyokoen.or.jp
インスタ <https://www.instagram.com/gambaplus/>

令和7年度賛助会員募集のお知らせ

社会福祉法人 白石陽光園

地域生活援助センター「ポレポレ」
県南生活サポートセンター「アサンテ」
ホームヘルプステーション「ぽかぽか」
県南障害者就業・生活支援センター「コノコノ」
放課後等デイサービス「ガンバ」
放課後等デイサービス「ガンバプラス」

ポレポレ・アサンテ・ぽかぽか・コノコノ・ガンバ・ガンバプラスでは、共同生活援助(グループホーム介護サービス包括型))事業、障害児者タイムケアサービス事業、障害児(者)相談支援事業、障害者就業・生活支援センター事業、居宅介護(ホームヘルプ)事業、障害児通所支援事業などの活動を円滑に進めるために懸命の努力を重ねております。一人でも多くの方々にセンターの趣旨に賛同頂き、私たちの活動をご支援くださいますようお願い申し上げます。

賛助会員入会について

○年会費(4月1日～3月31日)は…
一口 2,400円です(何口でも可)

○申し込み方法は…
郵便局から振り込まれるか、ポレポレ・アサンテの各事業所までお持ちくださいますようにお願い申し上げます。

口座記号・口座番号 02260-4-43908

加入者名 社会自立者友の会

賛助会員になると…

毎月「きらっと光る通信」が郵送されます。

—「きらっと光る通信」では、ポレポレ・アサンテ・ぽかぽか・コノコノ・ガンバ・ガンバプラスの各事業所の活動状況、また行事などのお知らせ等、たくさんの情報が載っています。また、最新の福祉情勢や地域福祉イベントなどの情報も盛りだくさんです。

☆是非みなさんの手元にも、きらっと光る通信を…入会お持ちしています。

編集後記

3月。この月になると、必ず思い出される忘れもしない3月11日の午後2時46分。未曾有の大震災が発生してから14年の月日が経ちました。今ではすっかり復興し新たに建物が立てられた場所も多くなってきました。年月が経つにつれこの震災を経験していない人も増えてきて、いわゆる震災の風化が懸念されます。この体験をどのようにして次の世代に伝えていくかが、この地域で生活していく中では必要なのではないかと感じながらも、自分自身が出来ることを考えて、自分なりの形で子どもたちに伝えていければいいのかなと思う今日この頃です。

さて今月のきらっと光る通信はいかがでしたか？皆様からのご意見・ご感想など、どんなことでも構いませんのでメール等でどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

(編集担当)

放課後等デイサービス ガンバプラス
児童発達支援管理責任者 若松 利幸